

文学座
9月アトリエの会

アナトミー ・オブ・ア・ スーサイド

—死と生をめぐる重奏曲—

作 アリス・バーチ
訳 關智子
演出 生田みゆき

沢田冬樹 鈴木弘秋 目黒未奈
栗田桃子 渋谷はるか 山森大輔
吉野実紗 梅村綾子 柴田美波
磯田美絵 村上佳 鶴田しげ里

2023

9/11[月] - 23[土・祝]

信濃町 文学座アトリエ

アトミー ・オブ・ア・ スーサイド

-死と生をめぐる重奏曲-

作 アリス・バーチ

訳 関 智子

演出 生田みゆき

美術 乗峯雅寛

照明 賀澤礼子

音響 藤平美保子

衣裳 宮本宣子

舞台監督 的早孝起

制作 白田 聡、谷口邦明、鈴木美幸

宣伝美術 荒巻まりの



命を未来に繋ぐことへの希望と恐怖 —その狭間で揺れる三世代の女性の物語。

自殺願望を持ちながらも母としての役割を果たそうとするキャロル、
薬物中毒に苦しみつつ自分の居場所を見つけようとするアナ、
母親を早くに失い、医者として人間の死と生に常に向き合うボニー。

三世代の物語は舞台上で同時に進行していく実験的な構造となっている。
そこで紡がれる言葉は時に呼応し、
共鳴しながら重奏曲のように奏でられていく。

《母であること、女性であること、生き続けること、命をつなぐこと》
自問自答を繰り返し、3人はそれぞれ決断していく——。

イギリスの演劇、映画界で注目を集める若手劇作家・脚本家のアリス・バーチが描いた本作は、英語圏の女性作家が対象のスーザン・スミス・ブラックバーン賞を受賞した話題作。文学座アトリエの会で『最後の炎』『ガールズ・イン・クライシス』等を演出し、『建築家とアッシリア皇帝』(主催:世田谷パブリックシアター)、パレスチナ演劇上演シリーズ『占領の囚人たち』(主催:名取事務所)と文学座外での活躍も著しい若手の生田みゆきによる演出。

今、生きづらさを感じる私たちの、未来への小さな突破口になりますように。

※「アトミー・オブ・ア・スーサイド」は直訳で「自殺の解剖」となり、自殺をテーマとして扱っています。
ホームページではセルフケアガイドを公開しています。



沢田冬樹



鈴木弘秋



目黒未奈



栗田桃子



渋谷はるか



山森大輔



吉野実紗



梅村綾子



柴田美波



磯田美絵



村上佳



鶴田しげ里

チケット料金 (全席指定・消費税込)

▶前売 4,600円 ▶当日 4,800円

▶ユースチケット(25歳以下) 2,700円

*ご観劇当日、ユースチケットは年齢を証明するものが必要となります。

▶三人割 12,900円 (文学座でのみ取り扱い)

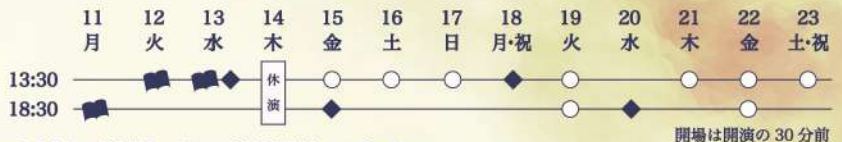
*同一公演・三枚同時予約のみ適用

※車イスでご来場のお客様は、必ず購入時に文学座までお知らせください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※当日券は開演の3時間前より03-3353-3566(文学座当日券専用)にて承ります。

2023 9/11[月]-23[土・祝] 信濃町 文学座アトリエ



■本作品の創作過程を記した「創作解剖書」をプレゼント!

- ◆アフタートーク 13日 13:30~ 沢田冬樹×鈴木弘秋×山森大輔×村上佳
- 15日 18:30~ 亀田佳明×渋谷はるか×梅村綾子×磯田美絵×sara×生田みゆき
- 18日 13:30~ 目黒未奈×栗田桃子×吉野実紗×柴田美波×鶴田しげ里
- 20日 18:30~ 関智子(訳)×生田みゆき(演出)

前売開始 2023年8月7日(月) 11:00より電話受付
オンライン先行 10:00



チケット取り扱い

▶文学座オンラインチケット <https://p-ticket.jp/bungakuza>

▶文学座チケット専用 ☎0120-481034 (11:00~17:30/日祝除く)

▶e+(イープラス) <http://eplus.jp/bungakuza/> (PC・携帯共通)

お問合せ

文学座 03-3351-7265 (10:00~18:00/日祝除く)

〒160-0016 東京都新宿区信濃町10

<http://www.bungakuza.com/> mail◆info@bungakuza.com

